



の北側は武蔵野段丘の南や、四季折々の自然や野鳥自然観察センターがあります。「わんぱく広場」「アスレチック

玉川上水

江戸時代により小右衛門・清右衛門兄弟により多摩川から開削され、江戸の町の飲料水や生活用水、武蔵野台地の村々の生活用水、農業用水に利用されました。1965(昭和40)年の淀橋浄水場の廃止に伴い、東京都水道局小平監視所より下流の流れは途絶えていましたが、下水の再生水を活用した清流復活事業により、1986(昭和61)年に流れが復活しました。両岸には樹木や野草が生い茂り、人気のある散策コースとなっています。

